

2024年度第37次池田市オーストラリア派遣レポート

第37次池田市オーストラリア派遣生の内田直仁です。私は8月3日から8月14日にかけてオーストラリアを訪問しました。

1. シドニー

8月3日の深夜に関西国際空港を出発した後、翌日の昼にシドニーに着きました。ここでは一週間ほど滞在し、ホームステイをしながら語学学校に通いました。

【ホームステイ】

私がホームステイした家はベトナム人の4人家族でした。とてもやさしい方々で行きのケアンズ行のフライトが3時間遅れて深夜0時発になったことを話すと夕食の時間まで寝させてくれました。私はお土産として抹茶のチョコレートとボールペンを渡しました。特に抹茶のチョコレートはあまりスーパーにおいていないようで、とても喜んでいました。



また日本の文化である折り紙と一緒に遊んだりしました。鶴と飛行機を作ったのですが鶴はとても折り方が複雑で苦戦していました。飛行機は簡単に作り上げることができ、一緒に飛ばすのを楽しみました。折り紙を教えた10歳のお子さんは学校でも折り紙クラブに入っているようでとても興味津々な様子で聞いてくれました。

夕食は米の上に総菜2種類(春巻き、オムレツ、ソーセージ、グリーンピースなど)をトッピングした質素な食事が多かったです。また朝食はシリアルのみで、私はそれだけだと足りないことが多かったので適宜カフェでパンを買う形で対応しました。

また、その家には暖房がなかったことにはとても驚きました。オーストラリアは季節が逆の冬で夜は5℃くらいまで冷え込み、寝るときにはたくさん服を着こみました。ホームステイ先の人もダウンを着て寝ていました。一番寒かったのはシャワーを浴びるときでした。シャワーを使うとすぐに浴室は湯気が充満し遠くが見えないほどでした。

とても忙しい家庭の方で、ご両親は夜まで家で働いていましたが、池田市の紹介をするとても興味深そうに聞いてくださりました。特に池田市がインスタントラーメン発祥の地とは知らなかったようで驚いていました。

このようにホームステイ先では文化の違いに驚くような出来事がたくさんありましたがとても仲よく過ごすことができたと思います。

【語学学校】

月曜日から土曜日までは現地の語学学校に通いました。午前中は同年代の方々と授業を受けました。授業内容は英語の文法やアメリカ英語とイギリス英語の違いについて学んだ

り、ローリングゲームをしたり、「天気の子」を英語バージョンで見たりしました。クラスは10人くらいで日本人が半分くらいいましたがラオス人、台湾人、韓国人もいて昼休みはコミュニケーションを楽しみました。

午後からはクラスみんなでシドニーを観光しました。火曜日はシー・ライフを訪れました。この水族館の一番の見どころはなんといっても船に乗ってペンギンを間近に見ることができることです。少し肌寒かったですがペンギンの鳴き声や動いている姿を観察できて面白かったです。またジュゴンも本来なら見ることができるようですがどうやら寝ていたようであまり姿は観察できなかったです。



水曜日はボタニカルガーデンを訪れました。とても静かな公園でオペラハウスや海がとても美しく見えました。またミセス・マッコリーの椅子も見ることができました。



木曜日は公園でスポーツを楽しみました。ここでラオス人の男の子2人組と初めてバレーボールをしながら話すことができ、うれしかったです。

金曜日はワイルド・ライフへ行きました。ウォンバットやワラビー、カモノハシなど日本ではあまり目にかかることがない動物を間近に見ることができました。また、コアラも4頭ほどいましたがみんな寝ていました。



土曜日は午前からタロンガ動物園へ行きました。あまりにも敷地が広すぎて一日で回りきることができませんでした。ワラビーを柵を挟まずに見ることができたり、絶滅危惧種や飼育がかなり難しい爬虫類を何種類も見ることができたりしました。



このように語学学校では日本では受けることができない授業を受けたり、シドニー市内を観光したりと有意義な時間を過ごすことができました。

【放課後】

放課後からホームステイ先に帰るまでもいろいろな出来事がありました。月曜日は池田市市民交流大使の鴨粕さんとお会いしました。鴨粕さんはシドニーに在住し、これまで20年以上にわたり池田市の代表団やシドニー滞在の交換学生などの世話を続け、シドニー滞在中の池田市民に対してトラブルやアクシデントに対するアドバイスなどをしているらしいです。池田市やローンセストン市の話について伺ったり、自分の将来に関するアドバイスをくださりとても有意義な時間になりました。大変お忙しい中お会いしてくださりありがとうございました。



木曜日には一般社団法人自治国際化協会シドニー事務所にてオーストラリアの政治や議会構造についての説明、ローンセストン市の歴史、姉妹都市交流のきっかけ、オーストラリアの日本に対する観光・インバウンド需要などについて説明を受けました。そもそも姉妹都市関係を結ぶようになったのは戦後もし国同士の関係が悪くなったとしても友人がいる国ならば戦争は起きないのではないだろうかという

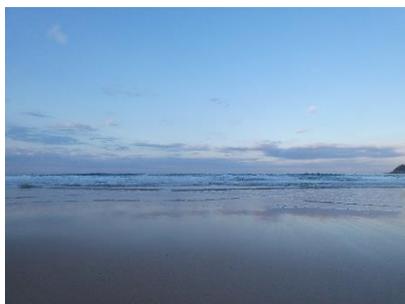


考えが元になっているのだそうです。またオーストラリアの人々は日本を観光する際いろいろなところを回るのではなく一つの場所でしっかり説明を見て詳しく知りたい人が多いそうです。このようにオーストラリアについてより深く知ることができたと思います。

そのほかの日は日本人の友達と一緒にシドニーを観光しました。オペラハウスを一緒にみたりハリーポッターの映画の舞台となったシドニー大学を見学したりマンリー・ビーチやワトソンズ・ベイで美しい夕暮れを見ました。とても充実したシドニー滞在でした。



シドニー大学



マンリー・ビーチ



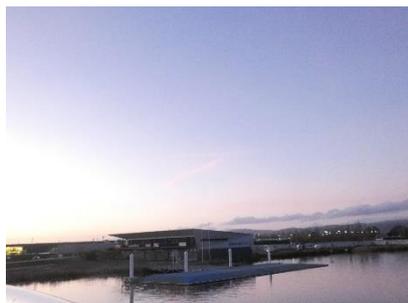
ワトソンズ・ベイ

2.ローンセストン

シドニー滞在のあとは3日間姉妹都市であるローンセストン市に滞在しました。

【初日】

飛行機で昼に到着し、ホテルにチェックインした後、川沿いの港を訪れました。そこから見える夕焼けはとても美しかったです。そのあとは港の近くのレストランで夕食を食べました。私はタスマニアサーモンのソテーとプディングを頼んだのですが、とてもおいしかったです。この日は明日のプレゼンに向けて早く寝ました。



港の夕暮れ



タスマニアサーモンのソテー



プディング

【2日目】

朝8時半にホテルを出発し、まず訪問したのはローンセストン大学の日本語を学んでいるクラスです。私は10分ほど相撲やアニメなど日本文化に関するプレゼンをしました。日本語を教えている先生曰く、多くの生徒さんは日本のアニメや相撲を理解するために日本語を学んでいるようで、興味津々な様子でプレゼンを聞いてくれました。また実際の大相撲の映像を見せると盛り上がっていました。池田市の一部の小学校には土俵があり、相撲の授業があることを教えるととても驚いていました。そのあとは実際に日本語の授業の様子を見学しました。生徒さんは静かに真剣な様子で日本語の文法を学んでいました。私もなかなか日本語を学んでいる授業を見たことがなかったのでとても新鮮でした。授業の最後には折り紙をみんなで作りました。私は飛行機の折り方を教えました。そして、折った飛行機を皆さんと飛ばして盛り上がりました。



ローンセストン大学



プレゼンの様子



折り紙をみんなで作る様子

その次は市役所に向かい、ローンセストン市長とお会いしました。市長はとても気さくな方で、短い時間でしたが池田市を訪れたいと言っていただき、よりローンセストン市との関係を深めることができましたと思います。



そのあとは市役所の中を見学しました。ローンセストン市議会も見学したのですが、池田市とは違い傍聴席の人が3回まで質問をしてもよいという制度があることに驚きました。また議場も池田市の議場より小さくより市民と議員の距離が近いと感じました。また一般市民は市役所の入口の相談窓口しか立ち入ってはいけないことに驚きました。そして普段は見ることができない職員さんが働いている様子も見学しました。市役所の建物はとても歴史や趣があり、とても厳かな感じがしました。



ローンセストン市議会の議場

続いて昼食を兼ねて市の中心部を散策しました。ローンセストンは確かに自然も多いですが、中心部は池田駅前のように歩行者天国となっておりいろいろな店が並んでいました。また郵便局など歴史が長そうな建物が多かったのが印象的でした。市民交流センターもあり、中ではギターを弾いている人がいたり、ゲームをしている人がいたりしました。入りやすい雰囲気の場所で、気軽に行きやすいと思いました。カフェで昼食を食べた後は、City Parkを訪れ、ある会社から池田市の仲介で贈られたサルを見学しました。サルの子供も見ることができ、とてもかわいらしい様子でした。



市民交流センター



City Park のサル

散策が終わるとローンセストン大学に戻り、日本語の上級クラスの生徒の皆さんに対して午前中と同じ内容のプレゼンをしました。みなさん簡単な日本語の会話ならできるという人が多い印象でした。日本のアニメを知っている人もとても多く、中には先月日本を訪れた人もいました。相撲の文化にもとても興味津々な様子で聞いてくださりましたし、折

り紙もとても楽しんでいました。中には私にハートの折り紙や折り鶴を渡してくれる人もいました。個人的に一番驚いたのは授業内容で、接続詞の使い方に関する授業だったのですが、日本語を普段から使っている私にとって考えたこともない内容でとてもドキッとしました。先生曰く、外国人は日本語の基礎の文法を固めないと日本語を話すことができないそうで、その基礎を学ぶ授業をしているそうです。また、先生は日本語を学んだ教科書を見せてくれました。とても分厚い3冊の本で、日本語の授業のために必死で準備していることが伝わりました。

そのあとは夕暮れが綺麗に見える山の上のスポットを訪れた後、プリンシズ・スクエアを見ました。これは美しい噴水や石像を見ることができる公園で、池田市で言えば水月公園に似ている場所です。とても町の中心部に近い場所にあり、ローンセストン市に住んでいる人にとって息抜きにピッタリな場所だと思います。



プリンシズ・スクエア

夕食は川沿いのレストランで生牡蠣とサメのフライを食べました。私は生牡蠣、サメの肉のどちらとも初挑戦でしたがとてもおいしかったです。サメの肉は白身魚のようでサメの肉と言われないと気づかないほどでした。



生牡蠣



サメのフライ



デザート

【最終日】

朝にホテルをチェックアウトとするとまずは市役所で副市長とお会いしました。副市長もとてもフレンドリーな方で池田市を訪れたいと言っただけでした。



そのあとはカタラクト・ジョージと呼ばれるとても景色が美しい公園に行きました。あいにく霧が立ち込めており景色は遠くまで見ることはできませんでしたが岩の荒々しい景色と霧はとても神秘的に見えました。また、公園内にはクジャクがたくさん生息しており間近でクジャクの美しい姿を観察することができました。またワラビーの群れも間近で見ることができました。



霧が立ち込めた様子



クジャク



ワラビーの群れ

次に訪れたのはタスマニア動物園です。日本ではなかなか見ることができないタスマニアデビルや、ウォンバットの寝ている姿も五月山動物園より近くで見ることができました。また肌が白いカンガルーも観察できました。そしてなんととっても一番の見どころはタスマニアデビルかウォンバットを抱っこする体験ができることです。私はタスマニアデビルを抱っこしました。少し腕の中で動いていて可愛いらしかったです。



ウォンバット



肌が白いカンガルー



タスマニアデビル

昼食を済ませた後、最後にはちみつ工房へ行きました。はちみつは約10種類の中から試食して選ぶことができ私はタスマニアでしか取れないレザーウッドとユーカリを選びました。



短いながらもとても充実したローンセストン市滞在でした。そのあとは空港に行きシドニーで1泊して帰国の途についたのでした。

3.感想

今回初めての海外訪問で最初は緊張しましたが、いざ訪れてみると日本と違うところばかりでとても新鮮でした。その中で一番印象に残っているのはオーストラリアの文化はどんな国の人々でもなじみやすいということです。偏見・差別などが一切なく、みなさんフレンドリーな方ばかりでした。

ローンセストン市は、とても自然が豊かな場所で、クジャクやワラビーやタスマニアデビルなどが生息していたり、タスマニアサーモンや牡蠣が取れたりします。その点では池田市にはない体験ができる場所だと思います。しかし市の中心部は池田市と似ていて、とてもコンパクトにまとまっていると思います。それ以外にも歴史がある建物があり、3日間では回り切れなかったのでまた訪問したいです。

ローンセストン市と池田市の姉妹都市の関係は自分が思っていたよりも交流が盛んで、これからもこのつながりを途絶えることがないよう、私なりにできることを見つけていきたいと思っています。

最後にオーストラリア派遣事業に携わってくださった皆様、誠にありがとうございました。通常の留学では得ることのできないとても貴重な体験ができたと思います。そして、この経験を自分の将来に生かしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。